

# 千歳第二小学校 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けた行動プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。

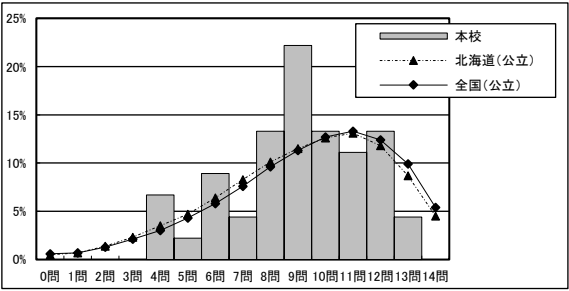
## 教科に関する調査結果

国語

全国の平均正答率と比較してほぼ同様の結果でした。

### ① 正答数の分布

正答数が9問の児童の割合が全国を大きく上回りました。  
また、3問以下の児童の割合が0%と全国を上回りました。  
一方で、13問以上の割合は全国を下回っており、いわゆる上位層が少ない状況が見られます。



### ② 学習指導要領の内容別の結果

○全国の平均正答率を上回った問題(抜粋)

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	北海道	全国		
2三	60.4%	61.3%	【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉

- ブックカバー
- ・何回か折るだけで、すぐに完成する。
- ・本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
- ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

〈使ってみて分かったこと〉

- ブックカバー
- ・よごれがつくのを防ぐことができてよかった。
- ・落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
- ・水てきが荷物につかなくてよかった。
- ・温かい飲み物が冷めにくかった。

【ちらし】

2

山田さんの学級では、伝統工芸品について詳しく書きました。山田さんは、手ぬぐいのよさについて詳しく書きました。次の「ちらし」に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものなのでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

あついい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

何回か折って本を包むと、ブックカバーになり、よごれがつくのを防ぐことができます。また、ペットボトルを包んで持ち運ぶこともでき、水てきが荷物につくのを防ぐことができます。(84字)

正答率  
75.6%

無解答率  
0%

事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く内容では、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができた児童が多く、全国の正答率を上回りました。無回答率も、全国を上回りました。

### 物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。



### 物を包む使い方

[illegible]

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。

解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、  
続けて書きましょう。

○「ちらし」の――部を書き直し、くわしくすること。（一文でなくてもよい。）  
 ○「調べたこと」の（本を読んで分かったこと）と（使ってみて分かったこと）のそれぞれから言葉や文を取り上げて書くこと。  
 ○六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

○全国の平均正答率を下回った問題(抜粋)

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	北海道	全国		
1－	51.2%	53.3%	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかをみる

正答 4

正答率  
75.6%  
無解答率  
0%

インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする内容では、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することに課題が見られました。目的や意図に応じて、必要な材料を集め、分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討することが重要です。無回答率は、全国を上回りました。

【話し合いの様子】の小森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、——部の発言をしましたか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
- 3 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
- 4 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にして働いているかを聞きたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切になっていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよな。

小森さん 確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきつかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

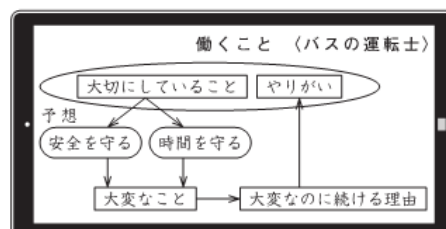
清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思っていたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

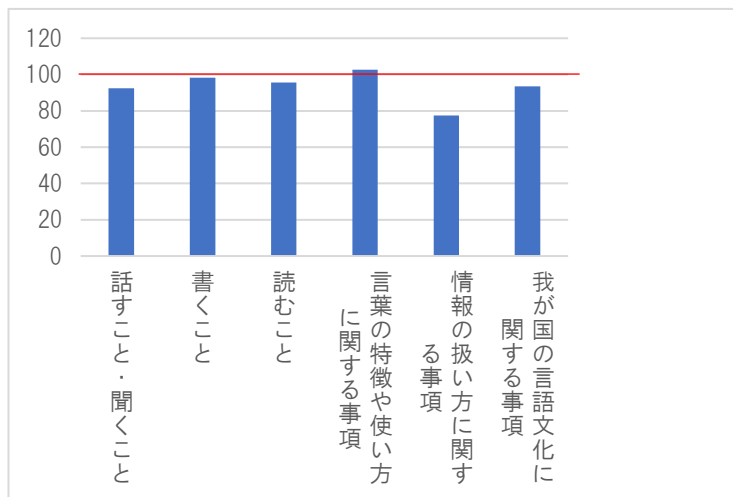
小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でもいいかな。

小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることになりました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の【話し合いの様子】と【話し合いの記録】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。



### ③ 指導改善に向けて

- 目的や意図に応じて、必要な材料を集めるなどの読解力やそれを表現する記述力の育成に向けて、引き続き、音読を積極的に行うとともに、二小つ子タイムで行っている新聞を活用した学習の取組を継続していきます。
- 「家庭学習の手引き」の活用など、ご家庭と連携して、音読や漢字の習得などの基礎的な力を育てていきます。

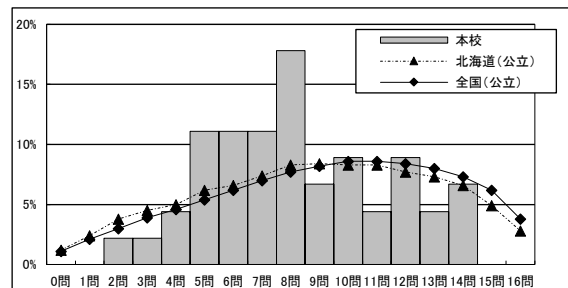


## 算数

全国平均正答率と比較して低い結果でした。

### ① 正答数の分布

正答数が5～8問の児童の割合が全国を大きく上回りました。また、1問以下の児童の割合が0%と全国を上回りました。一方で、9問以上の割合は全国と同等か下回っており、いわゆる上位層が少ない状況が見られます。



### ② 学習指導要領の内容別の結果

○全国平均正答率を上回った問題(抜粋)

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	北海道	全国		
3 (1)	71.5%	74.1%	0.4 + 0.05 について、整数の加法で考えるとときの共通する単位を書く	小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができるかどうかをみる

3

ひろとさんたちは、小数や分数のたし算についてふり返っています。

(1) ひろとさんは、 $0.4 + 0.3$  についてまとめています。



0.4 は 0.1 の 4 個分、0.3 は 0.1 の 3 個分です。  
0.1 を  $\textcircled{0.1}$  として下の図のように表します。



$0.4 + 0.3$  の計算は、0.1 をもとにすると、 $4 + 3$  を使って考えることができます。

$0.4 + 0.3$  は、0.1 をもとにする数にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、 $0.4 + 0.05$  について同じようにまとめます。

0.4 は  $\textcircled{0.1}$  の 40 個分、0.05 は  $\textcircled{0.01}$  の 5 個分です。  
 $0.4 + 0.05$  の計算は、 $\textcircled{0.01}$  をもとにすると、 $40 + 5$  を使って考えることができます。

上の  $\textcircled{0.1}$  にはすべて同じ数が入ります。 $\textcircled{0.01}$  に入る数を書きましょう。

正答

0.01

正答率

84.4%

無解答率

0%

$0.4 + 0.05$  について、0.4 は 0.01 の 40 個分、0.05 は 0.01 の 5 個分とみることで、0.01 を共通する単位として捉えることができる児童が多く、小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉える問題において全国の正答率を上回りました。無回答率も、全国を上回りました。

○全国の平均正答率を下回った問題(抜粋)

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	北海道	全国		
3 (4)	73.0%	81.3%	$1 \div 2 + 1 \div 3$ を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる

(4)  $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$  を計算しましょう。

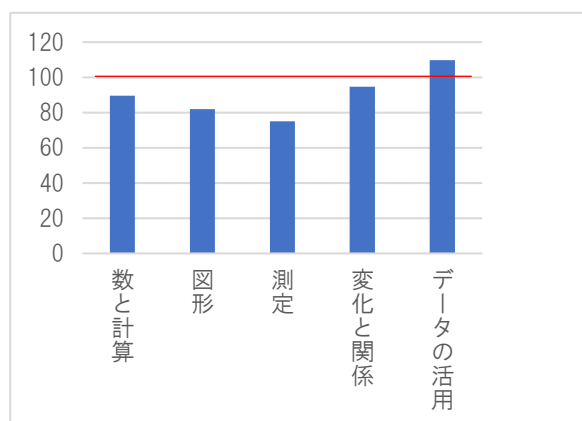
正答  
5 / 6

正答率 48.9%      無解答率 11.1%

異分母の分数の加法の計算をすることに課題が見られます。例えば、 $1 \div 2$  と  $1 \div 3$  の分母の最小公倍数である6を用いて通分し、 $3 \div 6 + 2 \div 6$  を計算することが必要です。本校児童の解答からは、分母の最小公倍数を用いることはできているが、分子をそのままにしていると思われるものや、分母と分子をそのまま足していると思われるものがあります。通分についてしっかりと理解し活用することが大切です。無回答率も、全国を下回りました。

### ③ 指導改善に向けて

- 最小公倍数を用いて通分をすることや分数の加法・減法の復習を単元を終えてからも授業や宿題を通じて繰り返し行います。
- 工夫して面積を求める問題にも課題が見られるため、どのような考え方をしていくかなどの見通しを考える授業づくりを行います。

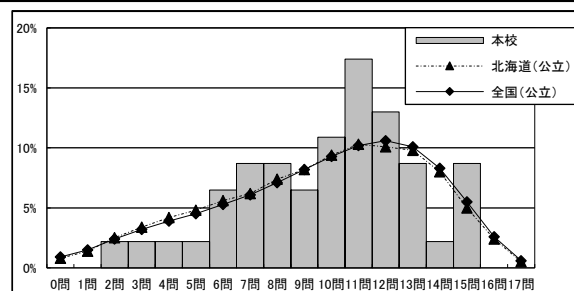


## 理科

全国の平均正答率と比較して同様の結果でした。

### ① 正答数の分布

正答数が11問の児童の割合が全国を大きく上回りました。また、5問以下の児童の割合が少なくなっています。概ね全国と同様の状況です。




### ② 学習指導要領の内容別の結果

○全国の平均正答率を上回った問題(抜粋)

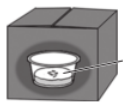
問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	北海道	全国		
3 (4)	29.1%	29.9%	レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきを基に、見いだした問題について書く	レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現することができるかどうかをみる

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。



レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。

たかひろさんが行った実験




しめらせた  
だっし綿

《条件》

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の《条件》の中から1つ選んで調べてみたい。



（4）てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

### 正答例

レタスの種子が発芽するのに、日光は必要なのだろうか。

正答率

58.7%

無解答率

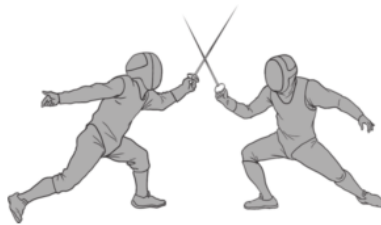
4.3%

変える条件と変えない条件を制御した観察、実験の結果から発芽に必要な条件を思考していくための実験の計画を構想し、問題解決していく学習場面の問題です。ここでは、自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を基に問題を見だし、表現することができている児童が多く、全国の正答率を上回りました。無回答率も全国を上回りました。

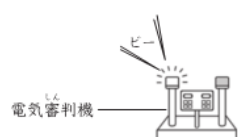
### ○全国の平均正答率を下回った問題(抜粋)

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	北海道	全国		
2（2）	42.1%	42.9%	電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ	電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる

2 てつやさんといおりさんは、フェンシングについて調べています。




フェンシングには、相手より先に剣を当てると得点になるしめきく種目がある。



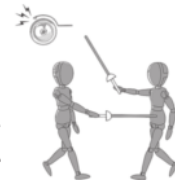
電気審判機

どちらが先に剣を当てたか、電気の性質を利用して、音や光で知らせている。

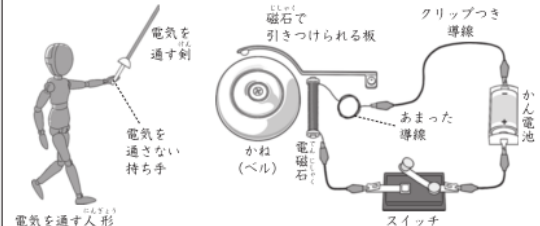
てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることできないか、話しています。




自分の剣を相手に当てたとき、かね（ベル）が鳴り、得点を知らせるようにしたいね。



これらの物を使ってつくることはできないかな。

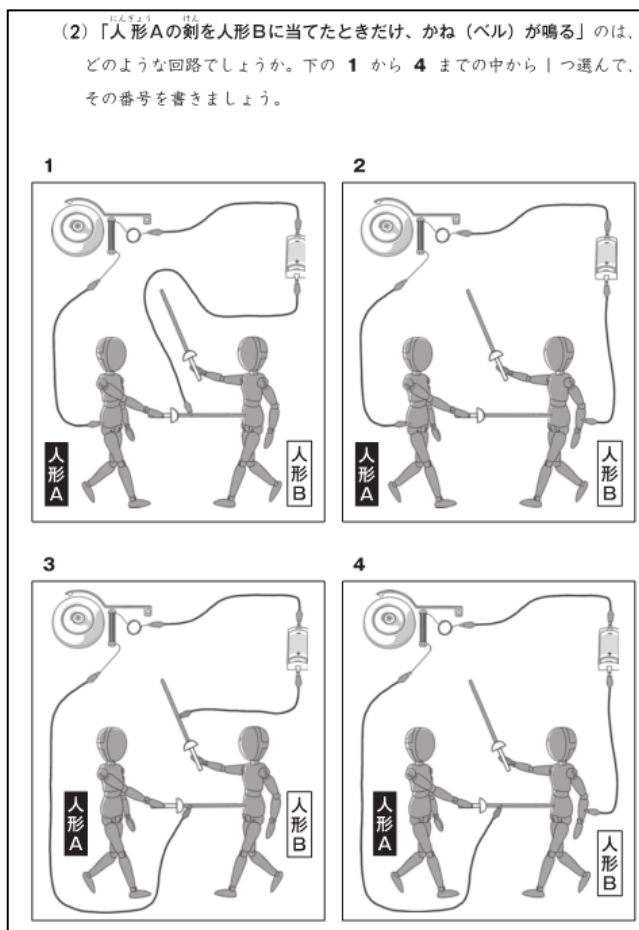


電気を通す剣、電気を通さない持ち手、磁石で引きつけられる板、クリップ付き導線、かん電池、あまった導線、スイッチ



電気を通す剣や磁石で引きつけられる板を、アルミニウム、鉄、銅のどれでつくろうかな。





正答

4

正答率

23.9%

無解答率

0%

自分の剣を相手に当てたときにベルが鳴るようにする方法や工夫について科学的に探究し、問題を解決していく学習場面の問題です。ここでは、電気の回路のつくり方について、解決するための観察、実験の方法を発想し、表現することに課題が見られました。身の回りのおもちゃなど、自然の性質や規則性を適用したものづくり等へ学びを結び付けていくことが大切です。無回答率は、全国を上回りました。

### ③ 指導改善に向けて

- これまでの学びを定期的に振り返り、正しい知識を積み重ねられるようにすることで、自然の性質や規則性を意識した授業づくりを行います。
- 単元学習の復習のために宿題を定期的に出すことで、理科用語等の知識・技能の定着を図ります。

